

和光市広沢複合施設における  
児童発達支援センター整備事業  
公募に係る審査結果報告書

令和元年5月24日

和光市児童発達支援センター  
事業者選定委員会

## 1 経緯

「第五次和光市障害者計画 第5期和光市障害者福祉計画」において、令和2年度整備事業として、児童発達支援センターの整備を位置付けています。

そこで、診療所等で判定を受け療育を行う必要があると認められる未就学児童を対象とした療育を行う通所施設で、障害児やその家族に対する相談業務を行うほか、障害児を預かる施設への指導・助言を併せて行い、地域の中核的な療育支援施設としての機能を果たす福祉型児童発達支援センター整備事業事業者の公募を実施したものです。

公募の結果、2事業者から公募申請書が提出されました。当委員会では、申請者としての適格性、事業提案の内容等について審査を行い、整備事業者を選定しましたので、ここにその結果を報告します。

## 2 公募した整備事業の概要

### (1) 事業の概要

施設種別	福祉型児童発達支援センター
開設予定日	令和3年4月1日 ※開設に伴う事務手続に要する期間を考慮し、予定日に開設できるよう整備事業を完了させること。
定員	20名（若干名の重度障害児の受入が望ましい）
業務時間	午前9時から午後5時までの8時間
休業日	日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日から1月3日まで。（休日開業を妨げるものではありません。）
その他事業	地域生活支援センター業務（別途市からの業務委託事業） ※上記に定めるものは必須とし、他の事業提案も可能です。

### (2) 事業用地の概要

所在地	埼玉県和光市広沢1-5	
用地面積	約1,040㎡※	
道路条件	西側道路：市道476号線（幅員18m）	
用途地域等	用途地域指定	第1種住居地域
	指定容積率	200%
	指定建ぺい率	60%
	地区計画	広沢地区計画 ・建築物等の形態又は色彩その他の意匠の制限

防火地域	法 2 2 条地域
高度地区	2 5 m
日影規制	5 m 超え 4 h 以上 / 1 0 m 超え 2. 5 h 以上 5 m 超え 4 h 以上 / 1 0 m 超え 2. 5 h 以上
埋蔵文化財包蔵地	指定なし (※平成 30 年度確認調査実施済)

### 3 選定委員会委員 (和光市児童発達支援センター事業者選定委員会設置要綱)

職 名	氏 名	所 属 (要綱の委員区分)
委員長	大野 孝治	保健福祉部長
委 員	橋本 久	企画部長
〃	大野 久芳	子どもあんしん部長
〃	白川 将実	資産戦略課長
〃	梅津 俊之	社会援護課長
〃	松繁 卓哉	国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部 主任研究官 (福祉行政に関する専門的な知識経験を有する者)

### 4 選定の経過

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| (1) 公募要領の配布  | 4月12日(金)～5月14日(火) |
| (2) 申請書の提出期限 | 5月14日(火)          |
| (3) 選定委員会    | 5月24日(金)          |

### 5 申請事業者

- (1) 特定非営利活動法人ワーカーズコープ  
代表理事 田嶋 羊子  
所在地：東京都豊島区東池袋1丁目44番3号 池袋 ISP タマビル7階
- (2) 社会福祉法人どろんこ会  
理事長 高堀 愛香  
所在地：東京都渋谷区渋谷1-2-5

### 6 選定にあたっての考え方

当委員会における選定は、各委員が申請事業者の提案内容等を60点満点で採点し、委員6名の評価点の平均点が42点(選定基準点)を超えたときに、当該事業者を児童発達支援センターの整備事業者として選定することとし、公募申請書に記載された事業計画等の内容に加え、事業者の提案内容の説明及び質疑応答により、総合的に評価を行

いました。

< 評価項目及び配点 >

- ① 応募の動機・運営方針(10点)
- ② 経営基盤の安定性(10点)
- ③ 資金計画・設計の考え方(10点)
- ④ 和光市障害者計画・和光市障害福祉計画との関わり方(10点)
- ⑤ 運営方針・提供するサービス・サービス事業等の質(10点)
- ⑥ 事業展開の確実性(10点)

合計 60点

## 7 審査結果及び選定委員会の意見

(1) 審査結果

- ① 特定非営利活動法人ワーカーズコープ 300点(平均50点)
- ② 社会福祉法人どろんこ会 286点(平均47.6点)

(2) 選定理由

当委員会では、2事業者から提出された公募申請書、プレゼンテーション及び委員との質疑応答により、総合的に評価し、審査した結果、特定非営利活動法人ワーカーズコープの提案が、より評価点数が高いことから整備事業者として選定しました。また、社会福祉法人どろんこ会も選定基準点を超えているため、次席候補者となりました。

以上